

健康の道“五条川・歴史散策コース” 史跡案内

廣間家の門

廣間家の門は、明治初年の廃藩置県の時、生駒家にあった中門を貰い受け、移築したものです。この中門は、檜造りで、門の正面にはなまこ壁が施されています。



龍神社

生駒家の氏神であり、織田信長の次男・織田信雄(のぶかつ)の出生の地と伝えられています。



神明社

『神社明細書』によれば、明応年間(1492～1501)に生駒家広が領主としてこの地に居住するにあたり、守護神として勧請(かんじょう)した社ということです。一間社神明造りでこの種の古い建物が残っているのは珍しいと言われています。



宝頂山墓地

石製の小橋を渡り、右端から信長の室(久庵桂昌大禅定尼)の兄にあたる生駒家四代家長夫妻の五輪塔、この近辺では珍しい石廟形式の五代利豊夫妻の墓、そして十代周房の墓碑があります。



富士塚古墳・富士塚の碑

6世紀頃の古墳で、前方後円墳であったと考えられます。長さは約30m、高さは6.5mで、現在は原形を留めていません。頂上には富士塚の碑が建ち、周囲の畑から出土品が多く発見されています。

天正12年(1584)、徳川家康・織田信雄と豊臣秀吉が戦った小牧・長久手の戦いの際、家康はこの富士塚に登って敵陣を視察したと言われています。

富士塚の上にある六角柱の碑は、この一帯で勢力を持っていた生駒氏の六代利勝が天和4年(1684)、家の由緒と武勲を後世に伝えるため建てたもので、お亀塚とも呼ばれています。